Institute of
SCIENCE TOKYO

高齢者歯科学分野 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工医療科学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

審美領域における
インプラント上部構造の設計



講師　**中野 環** 先生

大阪大学歯学部附属病院口腔補綴科
近未来歯科医療センター
口腔インプラントセンター

日時：**2026年11月16日(月) 17:30-19:00**

場所：**7号館3階歯学科講義室4（旧：第一模型実習室（示説室））**

近年のデジタル技術の発展に伴い、インプラント治療では、術前により詳細な治療計画を立案することが可能となっています。特に審美領域においては、インプラント体の埋入ポジションが最終上部構造の形態に大きく影響するため、理想的な補綴装置を実現するためには、治療計画に基づいた正確なインプラント体の埋入が重要です。

また、前歯部インプラント治療では、審美性の獲得のみならず、その長期的な維持も重要な課題となります。審美的に安定した長期予後を得るためには、最終上部構造装着時にインプラント体唇側に十分な厚みの硬・軟組織を確保するとともに、その状態を維持するための適切な上部構造の設計と形態付与が求められます。

本講演では、前歯部審美領域において、審美的な治療結果を獲得・維持するために重要となる上部構造のマテリアルと設計、さらにインプラント体の埋入ポジションと粘膜貫通部形態との関連について検討します。

担当：向井マリコ　mukai.mariko@tmd.ac.jp
高齢者歯科学分野　(内線5583)